



「日本国憲法前文」の暗唱（卒業特別課題） 小さな1年生の大いなるチャレンジ！

臨時休校明けの12日の昼休みに、1年生の男の子が校長室を訪れました。

「校長先生、日本国憲法前文をノートに書いてきたので見てください」

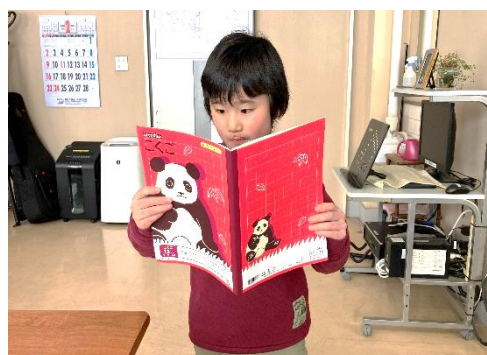
というので、ノートを見せてもらうと、丁寧な文字で数ページに渡って視写してありました。

そして、その男の子は、「校長先生、音読します！」

と言って、ノートを見ながら一生懸命に音読を披露してくれたのです。

6年生でさえ難しい日本国憲法前文を、休校中の家庭学習でノートに書き写してきたこと、そして、スラスラ音読したことには驚きました。何より、困難な課題に自らチャレンジする姿にとっても感動しました。

小さな1年生の大いなる挑戦に大きな拍手をおくります！



日本国憲法前文を音読する1年生

米野球殿堂入りしたイチロー氏のインタビューから

アジア人、そして日本人初のアメリカ球界の野球殿堂入りを果たしたイチロー氏が、殿堂入り後のあるインタビューで次のことを話していました。

メンタルを鍛えたいなら、厳しい道を選ぶ他ないんじゃないですかね。楽な方へ行くとメンタルは弱くなっていきます。技術的なこともそうですけどね。体が楽な方へいくと、体はなまけてダメになっていくのと同じようにメンタルもそうだと思います。楽な方、楽な方へ行けば当然弱くなっていくし、挫折を知らない、負けを知らないメンタリティーというのは、すごく弱いと思うので、チャレンジして負ける、その瞬間、負けるかもしれないけど、それを糧に頑張る。それを克服して築き上げるもんじゃないでしょうか。一つ二つの経験、少ない経験で強いメンタリティーを獲得できるということはないと思うんですよ。いかに厳しい道を選ぶかということに尽きると思います。

「いかに厳しい道を選ぶか」



日本国憲法前文という難解な文章をノートに書き写し、スラスラ音読できるようになるまで取り組んだ1年生も、イチロー氏が言う「厳しい道」を選びました。だからこそ、自分を大きく成長させることができたのでしょう。それも、日本国憲法前文の暗唱にチャレンジして見事合格した6年生の姿があつてのことではないかと思います。

きっと、上級生の頑張る姿が1年生に勇気とやる気を与えたのだですね。